

### 3 日常生活について

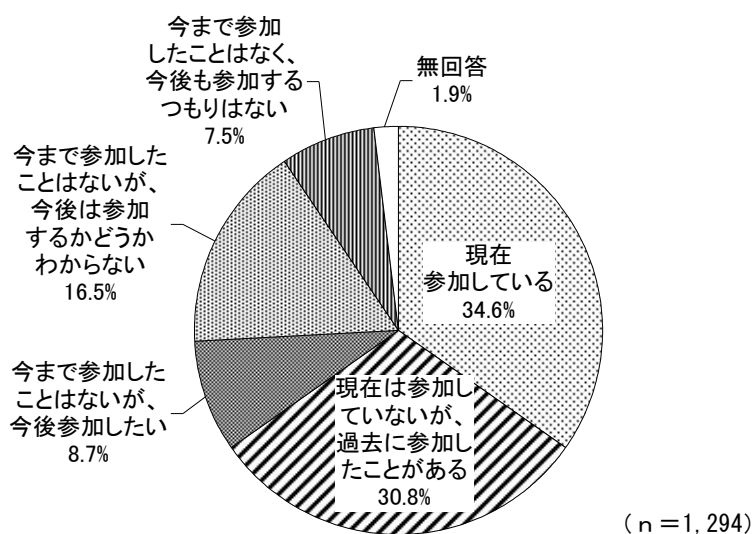
#### (1) 社会貢献活動の参加状況

問6 あなたは、社会貢献活動（※）に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いませんか。次の中から1つ選んでください。

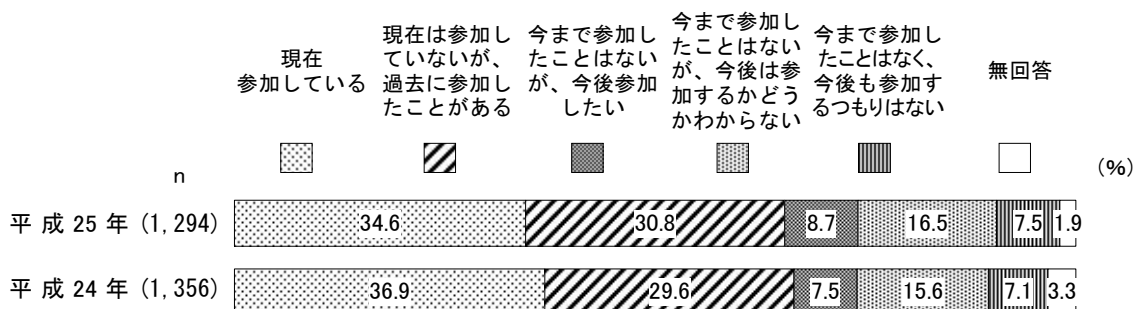
※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ、エコキャップなどの物品収集や公園清掃などの活動、ボランティアやNPO（特定非営利活動団体）活動、コミュニティ活動、自治会、育成会等の地域活動などをいいます。

[n=1,294]

1 現在参加している	34.6%
2 現在は参加していないが、過去に参加したことがある	30.8
3 今まで参加したことはないが、今後参加したい	8.7
4 今まで参加したことはないが、今後は参加するかどうか分からない	16.5
5 今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	7.5
(無回答)	1.9

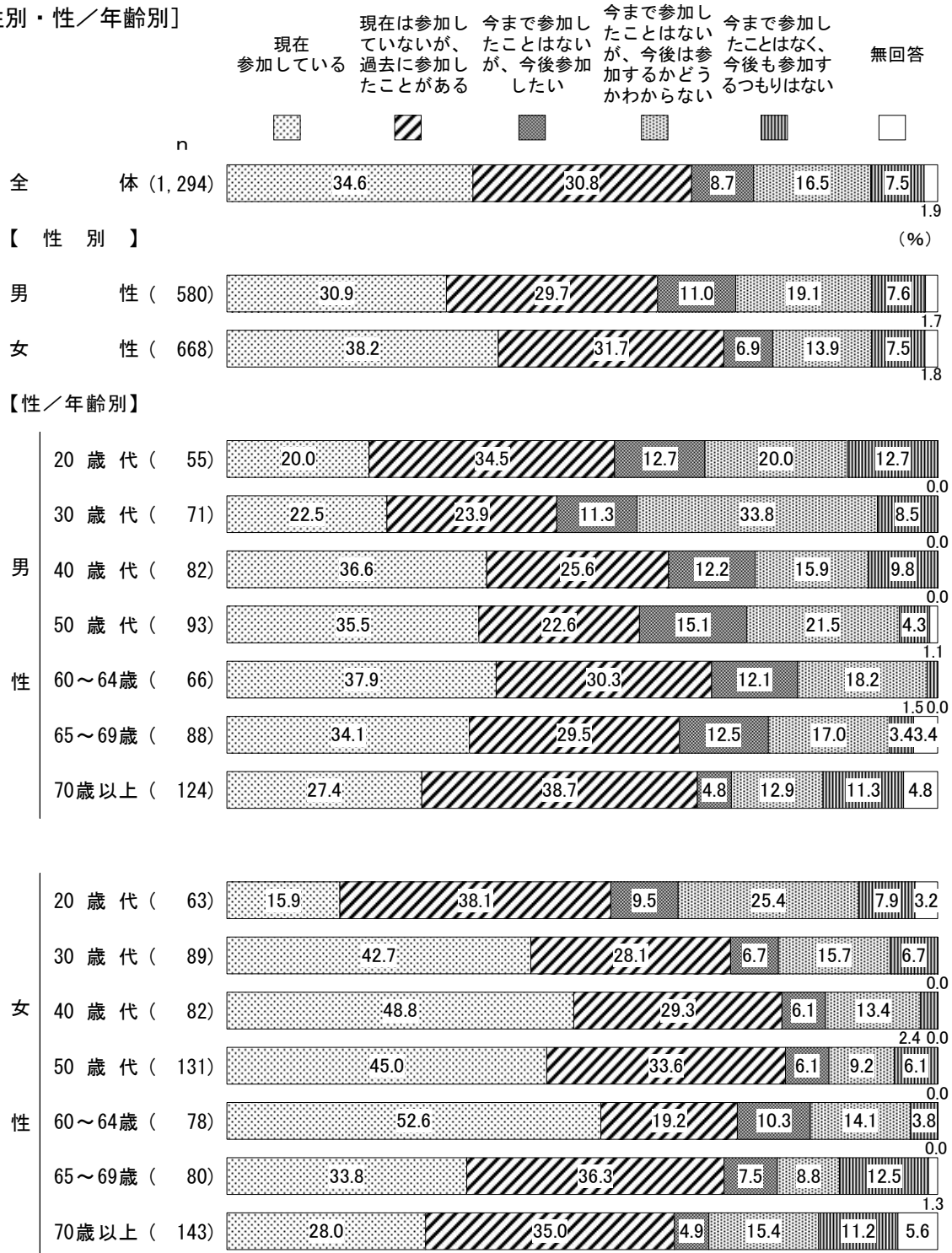


全体で見ると、「現在参加している」(34.6%)が3割半ばで最も高く、次いで「現在は参加していないが、過去に参加したことがある」(30.8%)、「今まで参加したことはないが、今後参加するかどうか分からない」(16.5%)の順となっている。



前回（平成24年）の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

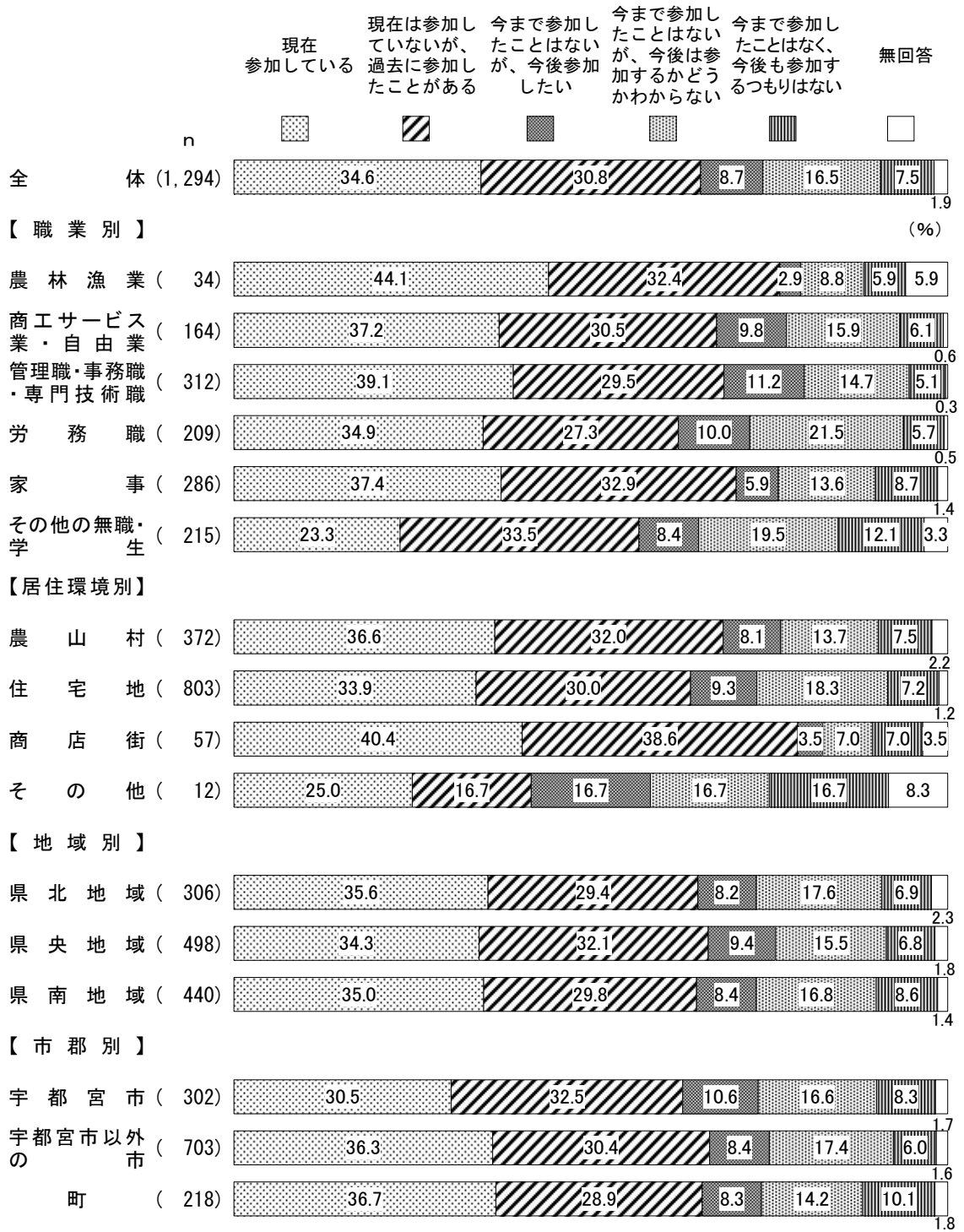
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「現在参加している」では〈女性〉(38.2%)が〈男性〉(30.9%)より7.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「現在参加している」では〈女性60~64歳〉が52.6%、〈女性40歳代〉が48.8%と高くなっている。一方、〈女性20歳代〉では15.9%となっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「現在参加している」では〈農林漁業〉が44.1%と他の職業に比べて高くなっている。

居住環境別でみると、「現在参加している」では〈商店街〉が40.4%と他の居住環境に比べて高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

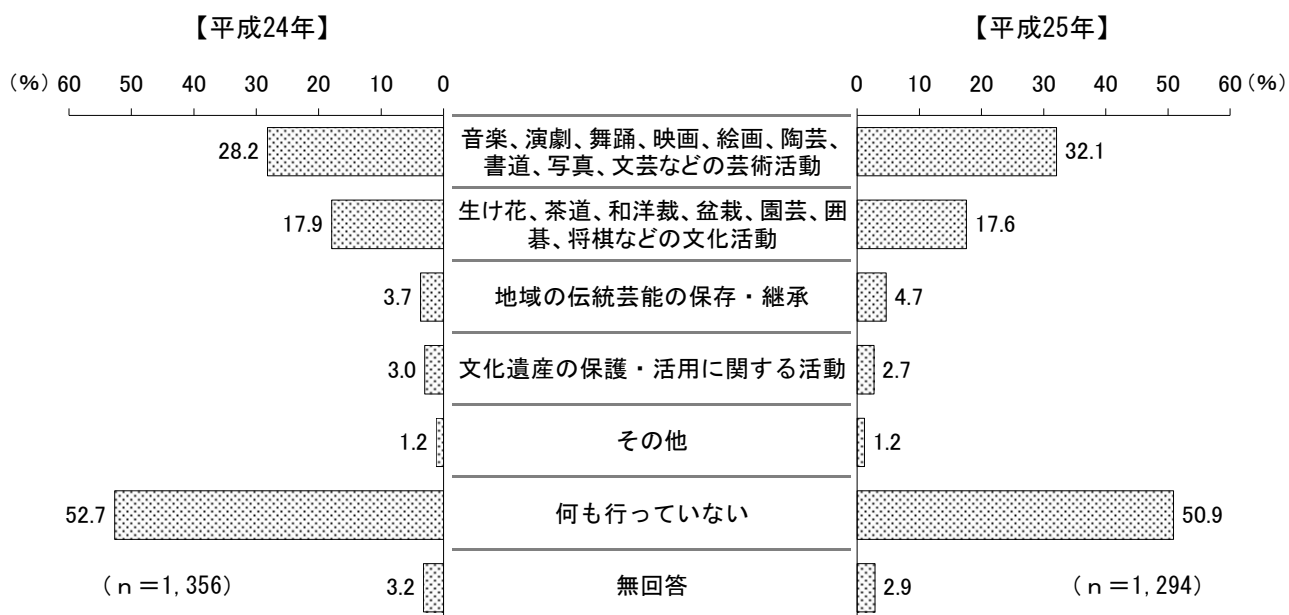
市郡別でみると、「現在参加している」では〈町〉が36.7%、〈宇都宮市以外の市〉が36.3%と、〈宇都宮市〉に比べて高くなっている。

## (2) 芸術・文化活動について

問7 あなたが日ごろ行っている芸術・文化活動は、どのようなものですか。  
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,294]

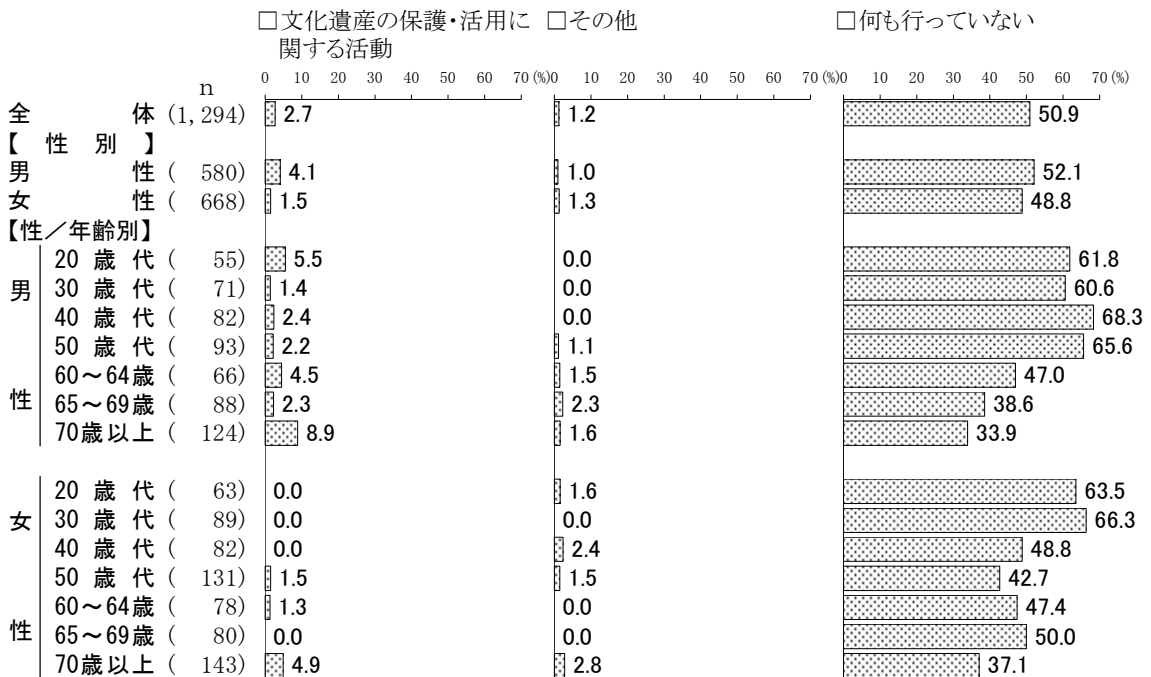
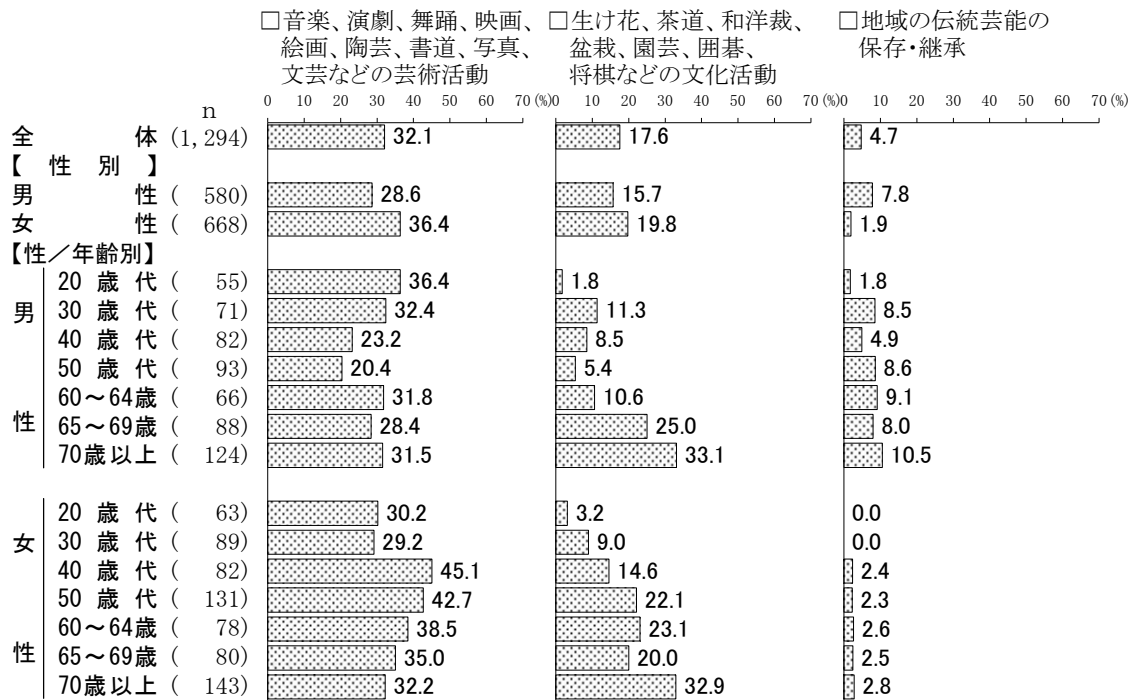
1	音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動	32.1%
2	生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	17.6
3	地域の伝統芸能の保存・継承	4.7
4	文化遺産の保護・活用に関する活動	2.7
5	その他	1.2
6	何も行っていない	50.9
	(無回答)	2.9



全体で見ると、「音楽、演劇、舞踊、映画、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」(32.1%)が3割を超えており、「生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」(17.6%)が2割近くとなっている。一方、「何も行っていない」(50.9%)はほぼ5割となっている。

前回（平成24年）の調査結果と比較すると、『芸術活動』が3.9ポイント増加している。

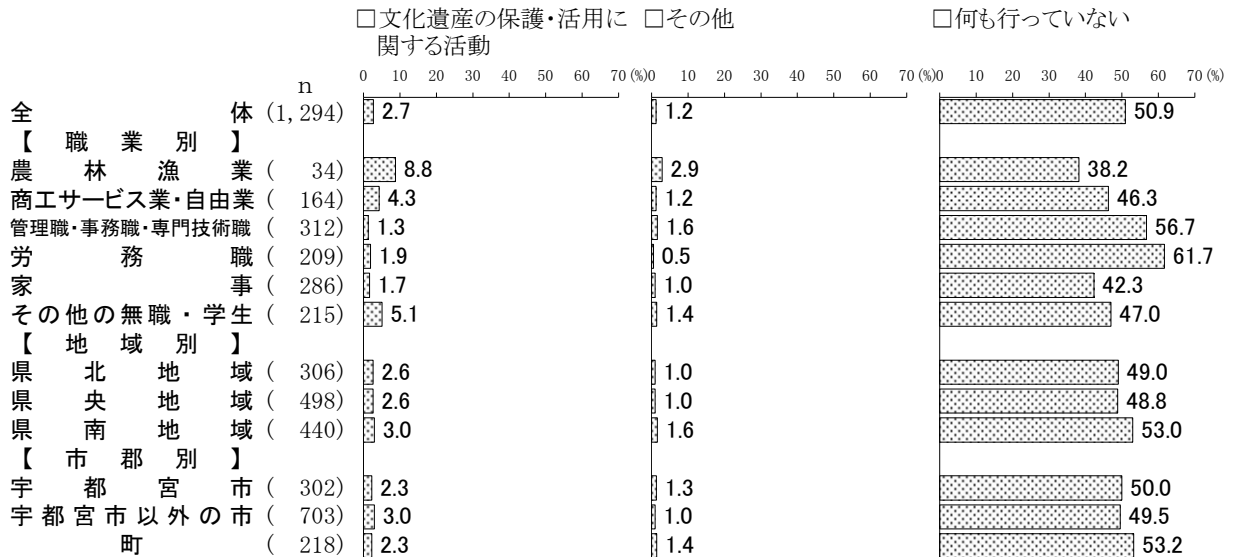
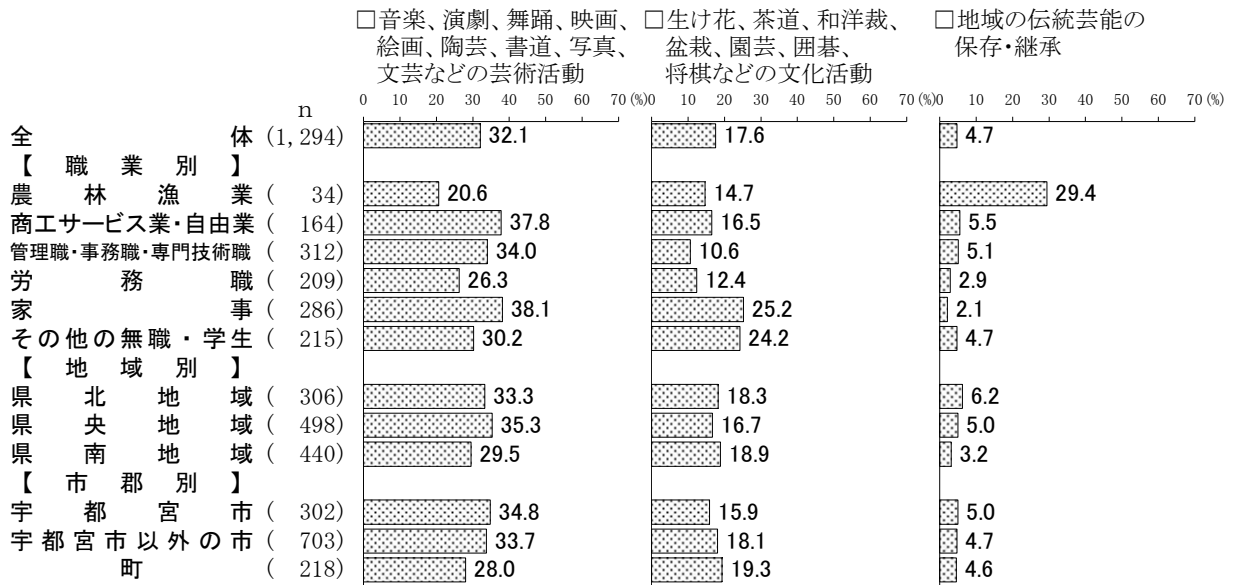
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『芸術活動』では〈女性〉(36.4%)が〈男性〉(28.6%)より7.8ポイント高く、『文化活動』では〈女性〉(19.8%)が〈男性〉(15.7%)より4.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『芸術活動』では〈女性40歳代〉が45.1%と高く、『文化活動』では〈男性70歳以上〉が33.1%、〈女性70歳以上〉が32.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、『文化活動』では〈家事〉が25.2%、〈その他の無職・学生〉が24.2%と高くなっている。「地域の伝統芸能の保存・継承」では〈農林漁業〉が29.4%と高くなっている。

地域別でみると、『芸術活動』では〈県央地域〉が35.3%と他の地域に比べて高くなっている。

市郡別でみると、『芸術活動』では〈宇都宮市〉が34.8%、〈宇都宮市以外の市〉が33.7%と、〈町〉に比べて高くなっている。

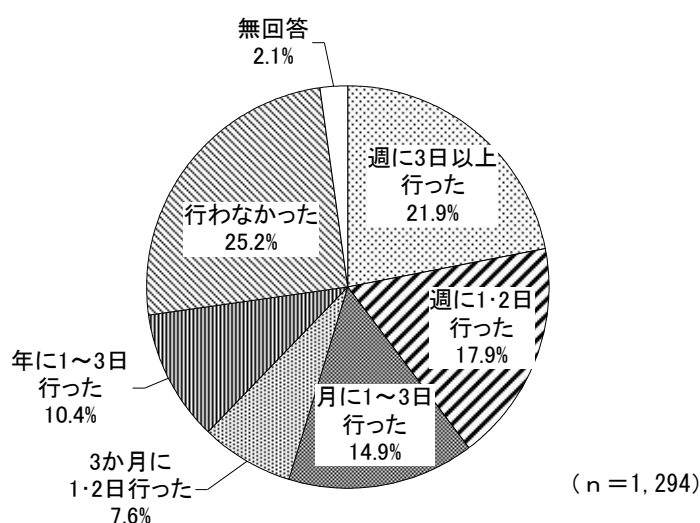
### (3) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

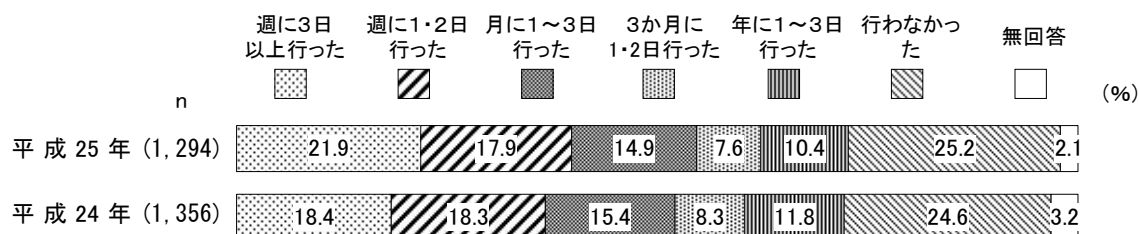
※ スポーツとは、ウォーキング、散歩、ダンス、ボウリング、ハイキング・キャンプなどのアウトドアスポーツ、軽い体操、レクリエーションスポーツを含みます。

[n=1,294]

1	週に3日以上行った	21.9%	4	3か月に1・2日行った	7.6%
2	週に1・2日行った	17.9%	5	年に1～3日行った	10.4%
3	月に1～3日行った	14.9%	6	行わなかった	25.2%
				(無回答)	2.1%

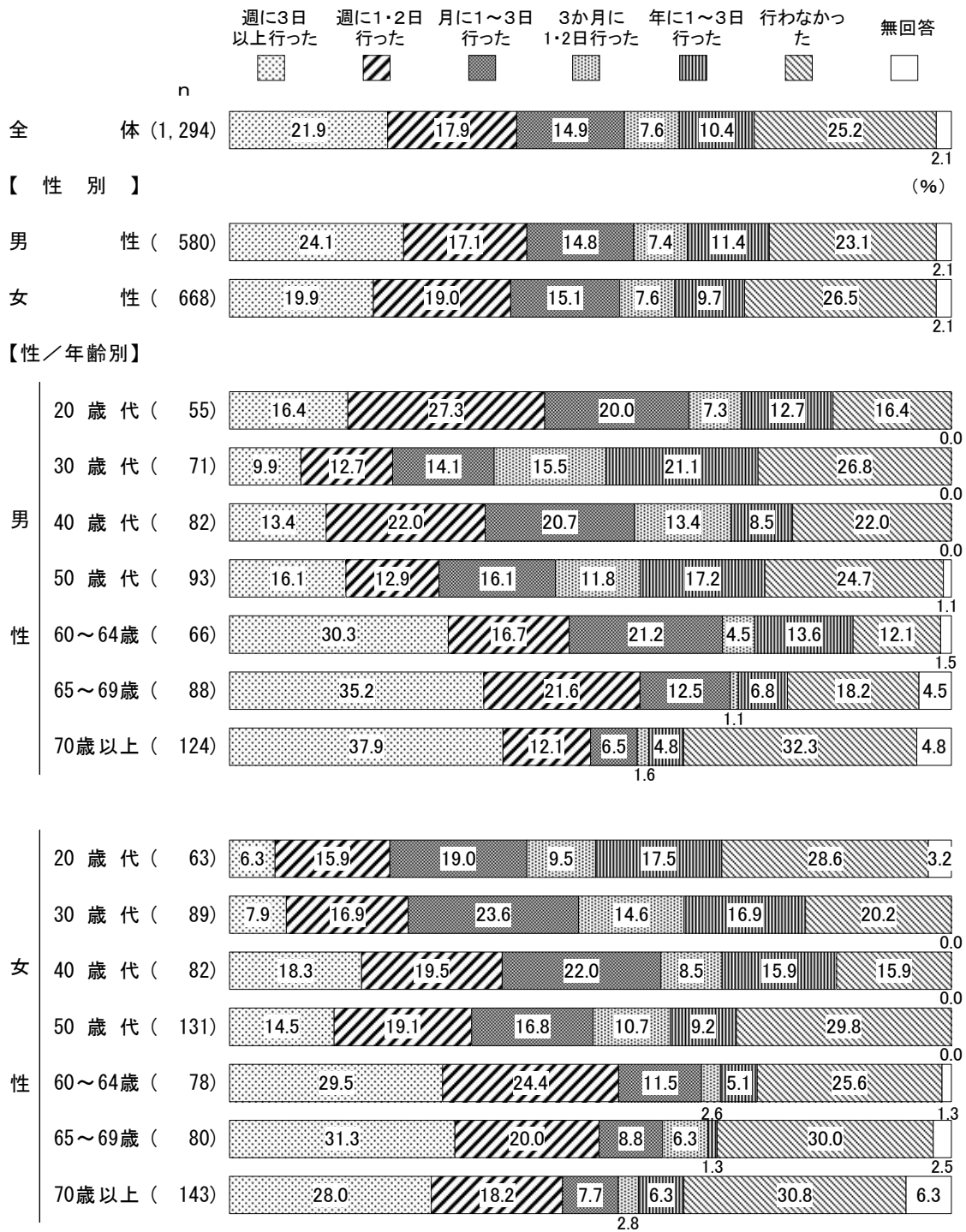


全体で見ると、「週に3日以上行った」(21.9%)は2割を超えている。「週に1・2日行った」(17.9%)は2割近くで、「月に1～3日行った」(14.9%)は1割半ばとなっている。一方、「行わなかった」(25.2%)は2割半ばとなっている。



前回(平成24年)の調査結果と比較すると、「週に3日以上行った」は3.5ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]

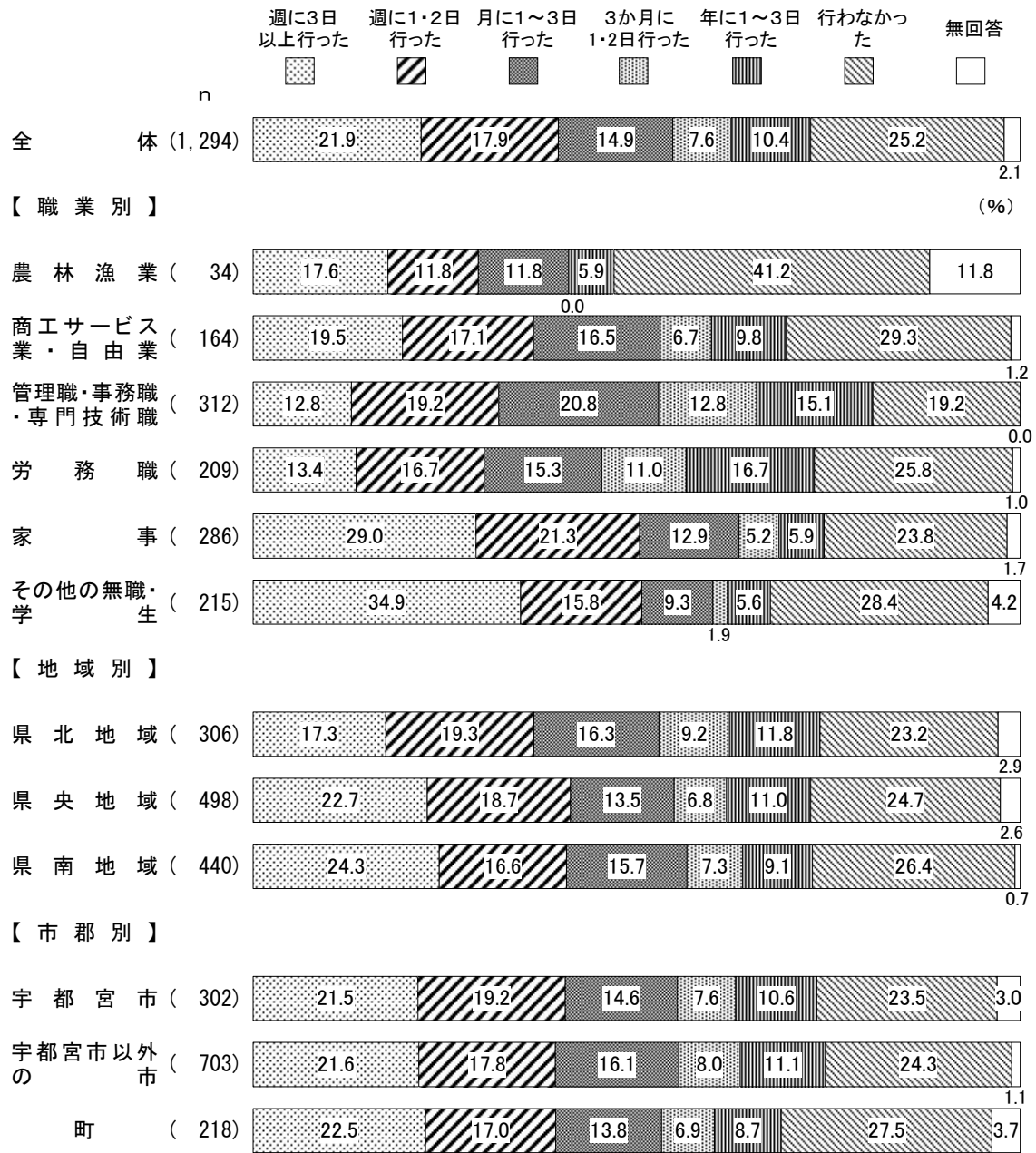


性別で見ると、「週に3日以上行った」では〈男性〉(24.1%)が〈女性〉(19.9%)より4.2ポイント高く、「行かなかった」では〈女性〉(26.5%)が〈男性〉(23.1%)より3.4ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「週に3日以上行った」では〈男性70歳以上〉が37.9%、〈男性65~69歳〉が35.2%と高くなっている。



[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「週に3日以上行った」では〈その他の無職・学生〉が34.9%と高くなっている。また、〈その他の無職・学生〉と〈家事〉では、他の職業に比べてスポーツを行う頻度の高い人の割合が高くなっている。

地域別でみると、「週に3日以上行った」では〈県南地域〉が24.3%と他の地域に比べて高くなっている。

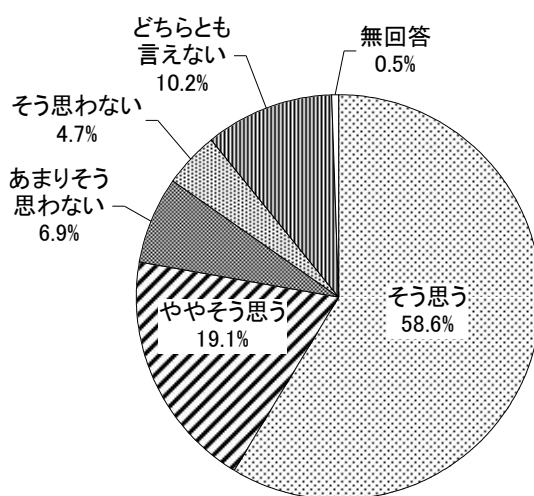
市郡別でみると、「行わなかった」では〈町〉が27.5%と、〈宇都宮市〉や〈宇都宮市以外の市〉に比べて高くなっている。

#### (4) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。  
次の中から1つ選んでください。

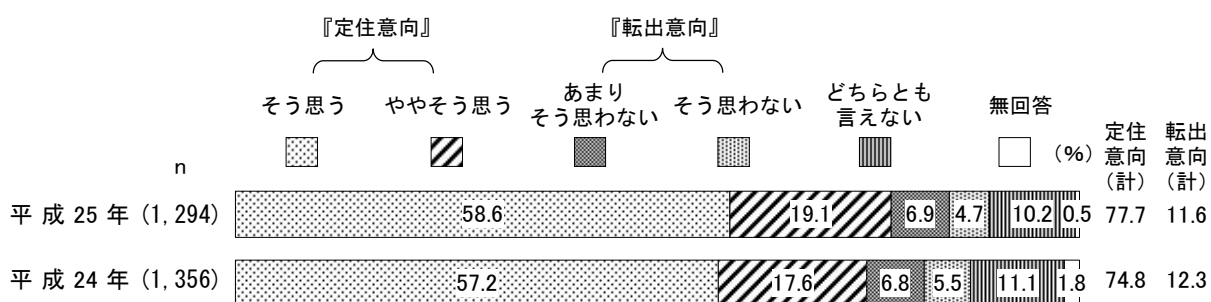
[n=1,294]

1	そう思う	58.6%	4	そう思わない	4.7%
2	ややそう思う	19.1	5	どちらとも言えない	10.2
3	あまりそう思わない	6.9		(無回答)	0.5



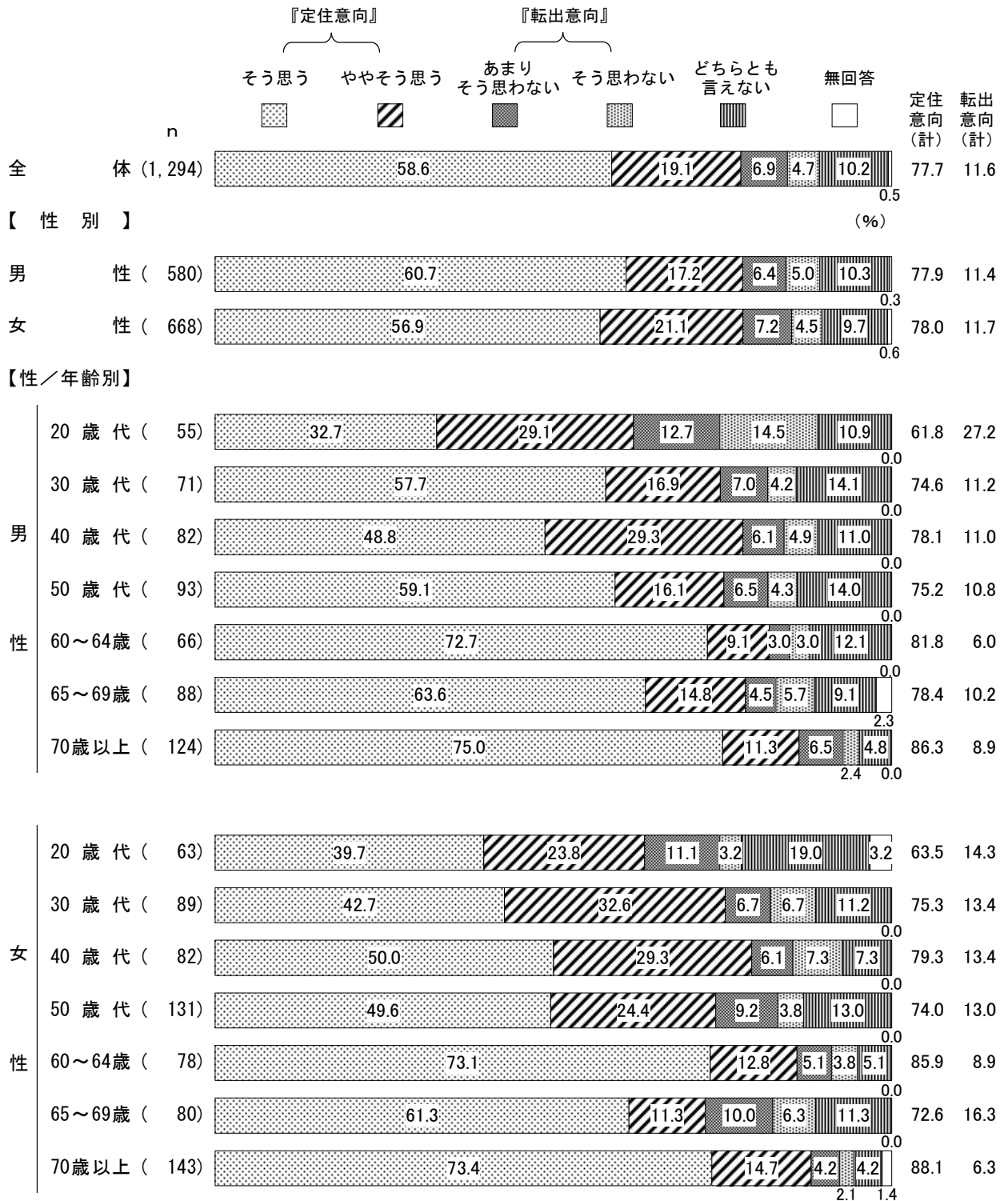
(n=1,294)

全体で見ると、「そう思う」(58.6%)と「ややそう思う」(19.1%)の2つを合わせた『定住意向』(77.7%)は8割近くとなっている。一方、「あまりそう思わない」(6.9%)と「そう思わない」(4.7%)の2つを合わせた『転出意向』(11.6%)は1割を超えている。



前回(平成24年)の調査結果と比較すると、『定住意向』は2.9ポイント増加している。

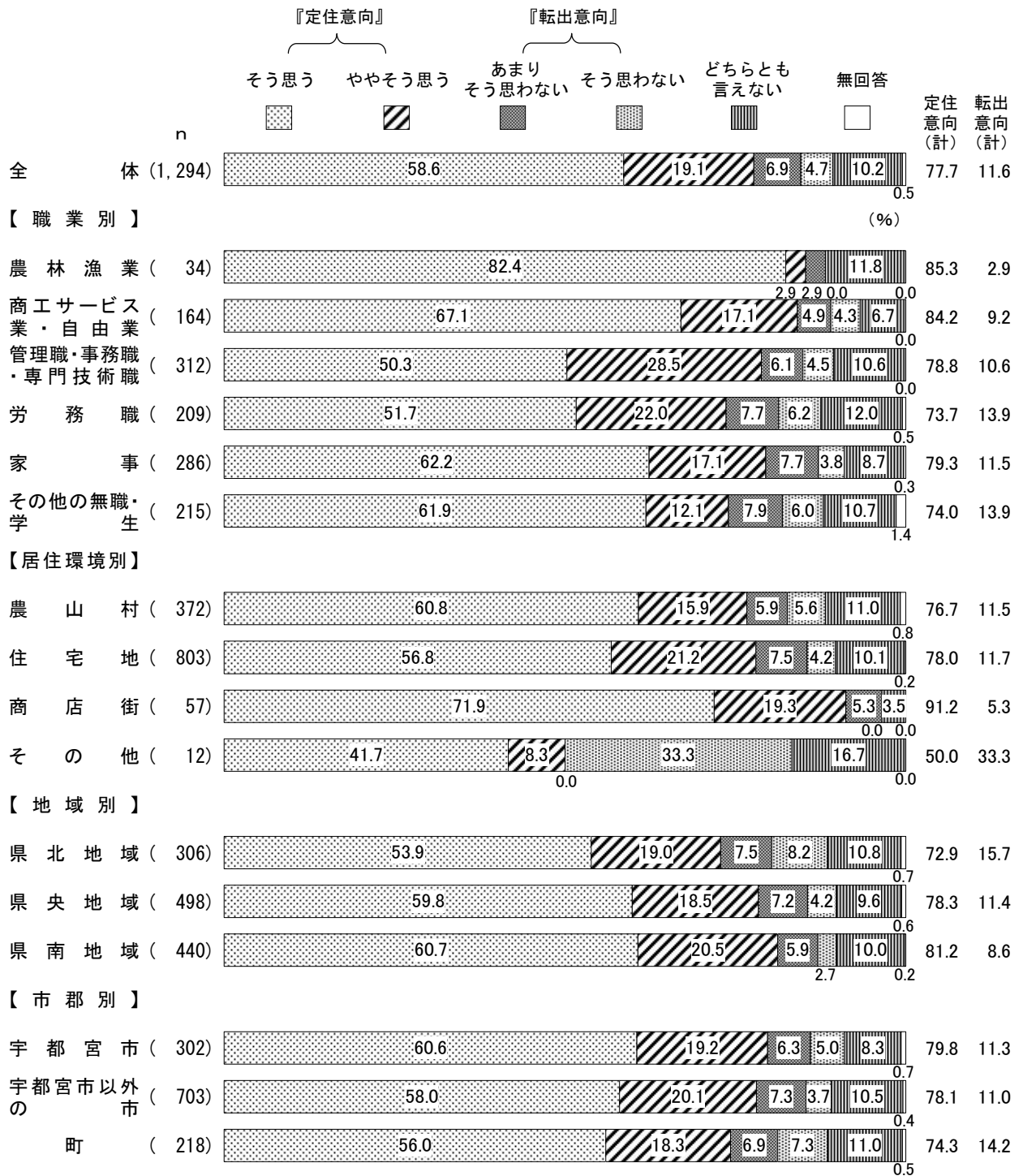
【性別・性／年齢別】



性別でみると、「そう思う」は〈男性〉(60.7%)が〈女性〉(56.9%)より3.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『定住意向』では〈男女とも60~64歳〉と〈男女とも70歳以上〉が8割を超えて高くなっている。『転出意向』では〈男性20歳代〉が27.2%と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別・市郡別〕



職業別でみると、『定住意向』では〈農林漁業〉が85.3%と高くなっている。

居所環境別でみると、『定住意向』では〈商店街〉が91.2%と高くなっている。

地域別でみると、『定住意向』では〈県北地域〉が72.9%と、他の地域に比べて低くなっている。

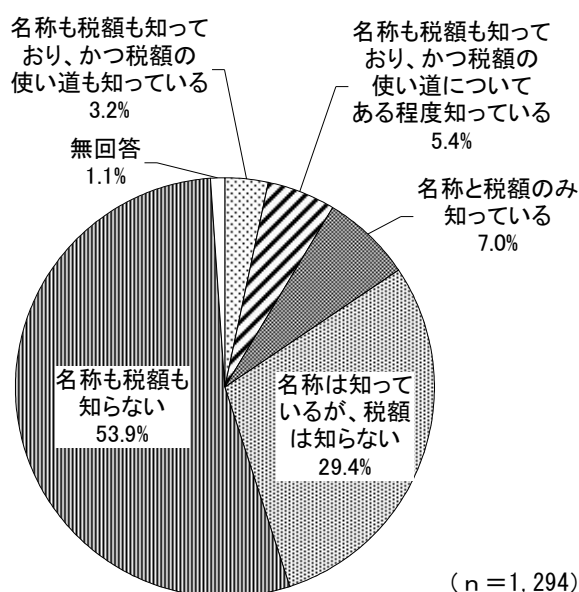
市郡別でみると、『定住意向』では〈町〉が74.3%と、〈宇都宮市〉や〈宇都宮市以外の市〉に比べて低くなっている。

(5) 「とちぎの元気な森づくり県民税」について

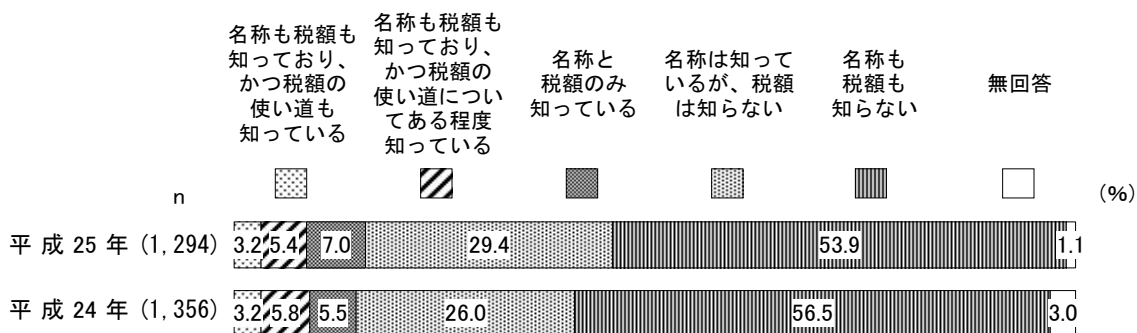
問10 あなたは、平成20年4月から本県で導入している「とちぎの元気な森づくり県民税」いわゆる森林環境税を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,294]

1	名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている	3.2%
2	名称も税額も知っており、かつ税額の使い道についてある程度知っている	5.4
3	名称と税額のみ知っている	7.0
4	名称は知っているが、税額は知らない	29.4
5	名称も税額も知らない	53.9
	(無回答)	1.1

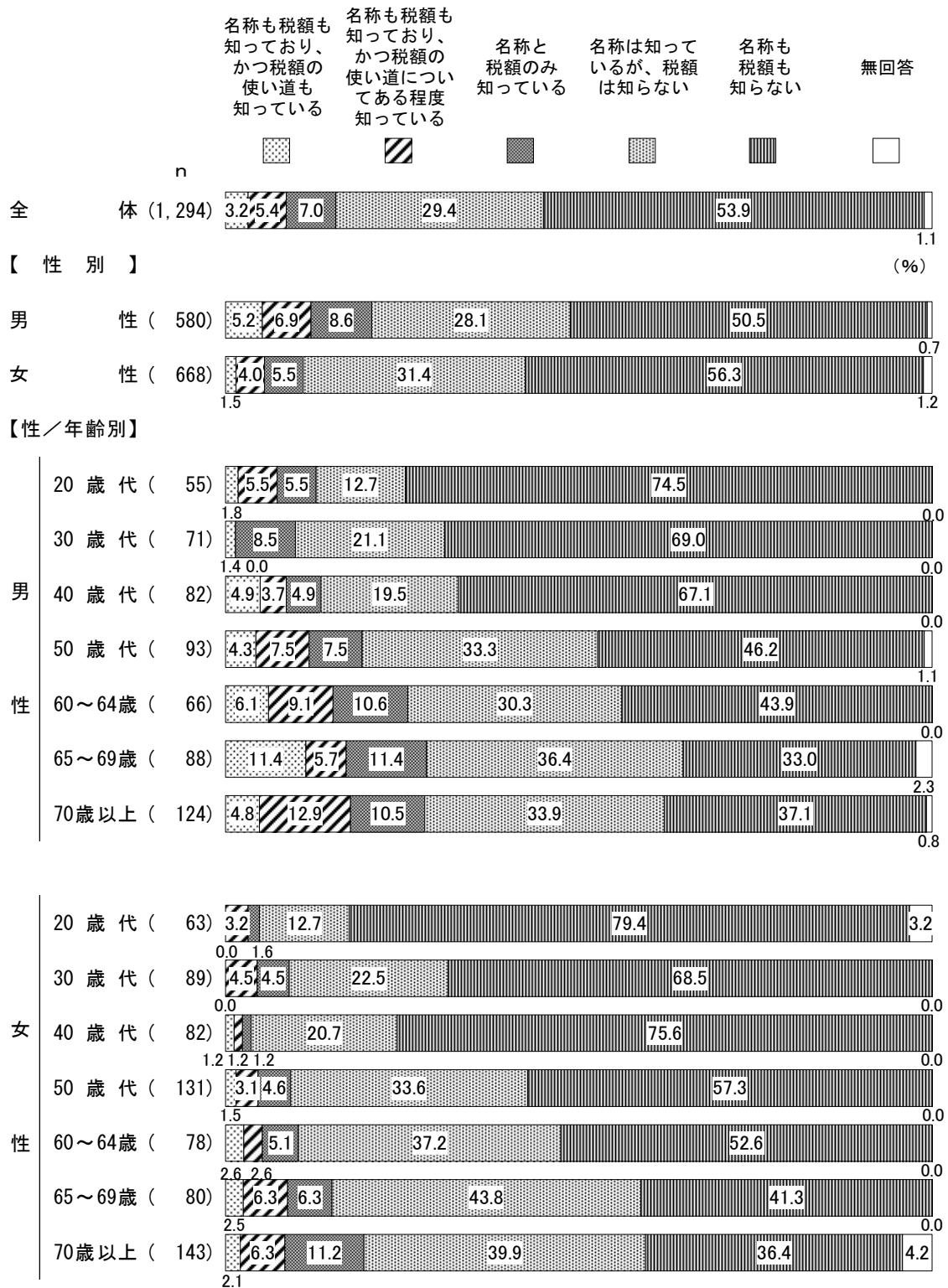


全体で見ると、「名称は知っているが、税額は知らない」(29.4%)がほぼ3割で、「名称と税額のみ知っている」が7.0%、「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道についてある程度知っている」が5.4%となっている。一方、「名称も税額も知らない」(53.9%)は5割を超えている。



前回(平成24年)の調査結果と比較すると、「名称は知っているが、税額は知らない」は3.4ポイント増加しており、「名称も税額も知らない」は2.6ポイント減少している。

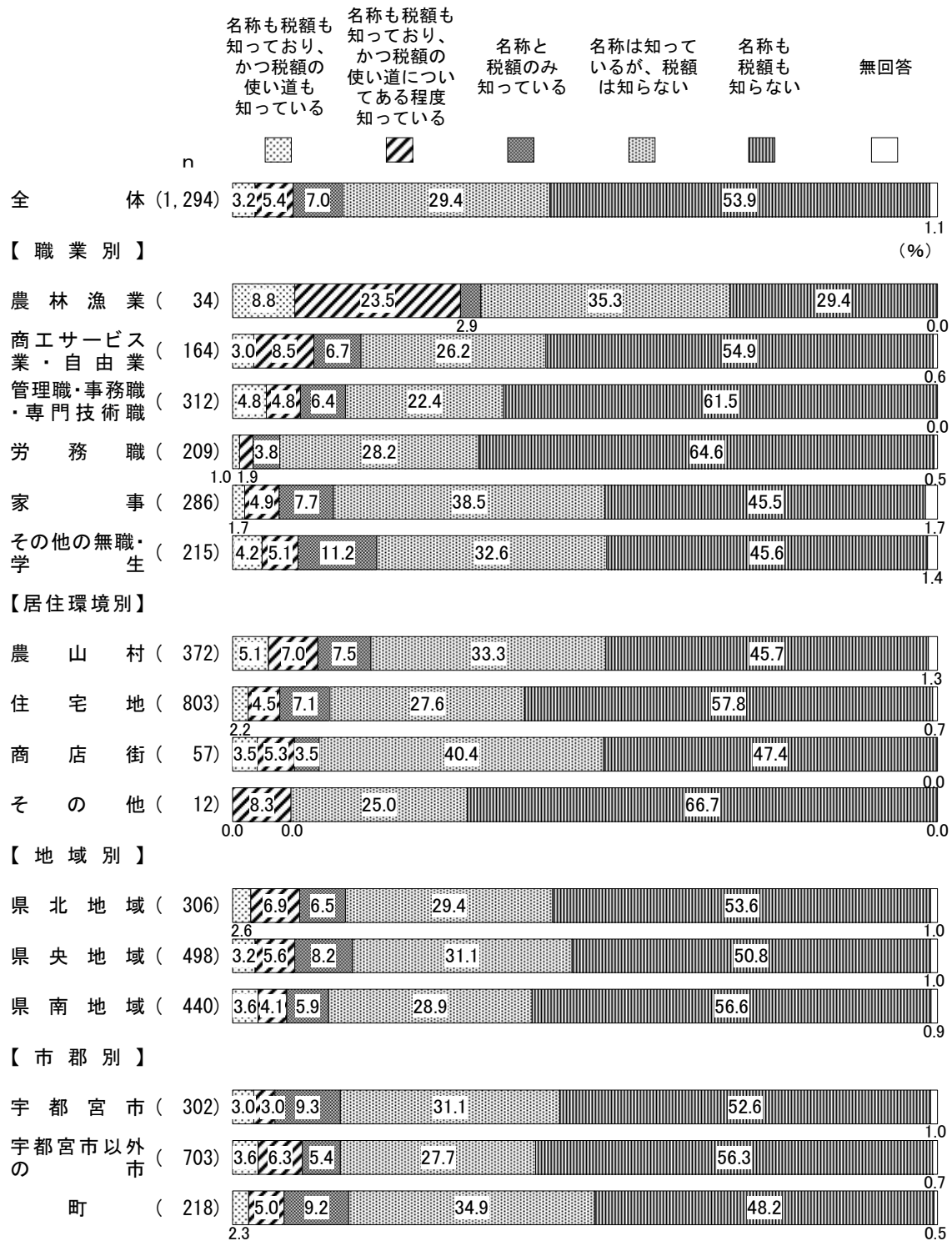
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「名称も税額も知らない」では〈女性〉(56.3%)が〈男性〉(50.5%)より5.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「名称も税額も知っており、かつ税額の使い道も知っている」では〈男性65～69歳〉が11.4%と高くなっている。一方、「名称も税額も知らない」では〈女性20歳代〉が79.4%、〈女性40歳代〉が75.6%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「名称も税額も知らない」では〈労務職〉が64.6%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が61.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、「名称も税額も知らない」では〈住宅地〉が57.8%と高くなっている。

地域別でみると、「名称も税額も知らない」では〈県南地域〉が56.6%と他の地域に比べて高くなっている。

市郡別でみると、「名称も税額も知らない」では〈宇都宮市以外の市〉が56.3%と、〈宇都宮市〉や〈町〉と比べて高くなっている。